

校長室だより
NO. 20
令和元年7月19日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

令和元年度1学期の子どもたちの学びを振り返って

この1学期は、平成31年から令和元年に移り変わるという歴史的な基点となる時期でした。そして、時の過ぎるのは早く、本日が1学期の終業式になりました。その間、ゴールデンウィークの10連休がある中で、「信じよう わたしのやればできる力」をスローガンとした大運動会を始め、至る所に子どもたちの目標を掲げて努力し自信を持ってチャレンジする姿が見られました。しかし、逆に思うようにいかなかったり、友達同士のトラブルを起こしてしまったりした子どももいました。ただ、子どもたちはそのような中で、その時その時で多くを学び成長しています。私たちは、子どものあるべき姿を見据えて、さらなる能力や個性を引き出していきたいものと思います。



大運動会(5・6年組立体操)

今回は、1学期の子どもたちの成長を、各学級担任の指導記録をもとに振り返りたいと思います。子どもたちの成長は何と云ってもうれしく、まさに学校にとっても家庭にとっても宝物なのです。それを支えた1つに教師の働きかけがありました。

○ 5年の学級担任の指導記録

1学期間で、子どもたちはそれぞれの成長をしました。全体としては、授業で自分の考えが説明できるようになってきたことや、自分たちで先の動きを考えて行動できるようになってきたことであると思います。

1つ目について、自分が取り組んだことは、とにかく、子どもが説明できるチャンスがある場面では、ゆっくり時間をとって話ができるようにしました。その中で、上手に説明できている子をほめたり、時には話し方を教えたりしてきました。また、話だけではなくて、伝えたいことがあるときには、みんなの前に出たり、黒板を使ったりしてよいことを伝えてきました。少しずつではありますが、自分の言葉で工夫をしながら話ができる子どもが増えてきたと思います。



水泳記録会(2年)

2つ目は、子どもの行いを待つようにしました。5月中旬の指導記録に対して「しゃべりすぎに注意」という指摘をいただいてから、余分なことは言わず、必要な指示だけを出したり、めちゃくちゃ時間がかかるのですが、待つということを強く意識してやってきました。このことにより少しずつですが、自ら動く子どもが増えてきたと思います。2学期は山の学習もあります。そのときに自分たちで動くことができるように、これからも待つ姿勢は大切にしたいと思います。まだまだ成長できる子どもたちだと思うので、こちらががんばっていききたいです。

○ 特別支援学級の学級担任の指導記録

それぞれの課題に合わせて、個別の学習を進めることが中心的な活動ですが、1学期の後半から学級のみんなで学ぶ時間を意識的に増やしてみました。みんなで助け合って漢字の問題を答えたり、メジャーを使って廊下の長さを測ったりすると、初めの予想で正解だった子どもをみんなで認め合うことができました。また、うまく予想できなかった子どもにも「ちょっと違うけど、惜しかったね」と優しく声をかける姿が見られるようになってきました。また、順番を守ることや友達が答えるのを待ってあげることが少しずつできるようになってきていると思います。

○ 6年の学級担任の指導記録

子どもの成長について振り返ると、学級通信による行動をした子どもを紹介していくことで、進んで配付物を配ったり、優しい行動をしたりする子どもが増えてきましたが、現段階ではそのような行動は一部の子どもに過ぎず、まだまだ学級全体としては課題があります。また、6年生らしい姿でいられているかということも課題です。しかし、道徳の授業や学級会などで、



保護者ボランティア
(授業支援・5年家庭科)

「手本となる」という意識や「自分たちがやらなければ」という意識は、子どもたちの中にゆっくり芽生えてきています。2学期はその芽生えた思いが花開く期間にしたいと思います。子どもたちが進んでやりたくなるような、もっともっとよい行動ができるような、そして自主的に活動できるよう手立てを夏休みにじっくりと考えてみたいと思います。

まず、5年の学級担任の指導記録から、着実な子どもの成長がうかがえます。それは、意図的で計画的な教師の働きかけがあったことがよく分かります。子どもに話をさせたいのであれば、子どもが話す時間を保障することは必要なことで、そのときの教師は待つことが求められます。そのような中で、自ら考え動く子どもに育ってきているようです。とてもうれしくなる指導記録です。

次に、特別支援学級の学級担任の指導記録からも、子どもがかかわり合えるように指導を考えることで、確実に優しい子どもが育ってきているようです。その優しさは、人を思いやる気持ちにつながっています。これらすべて、教師の子どもへの願いが明確な指導によるものです。

最後の6年の学級担任の指導記録からも、子どもたちの成長が分かりますが、ただ、課題を的確に把握しているところが、次への伸びを期待できます。そんな教師の気持ちが、子どもたちに最高学年らしさの自覚を促しているようです。また、さらなる成長のための教師の効果的な手立てを探ろうという謙虚な姿勢が見られます。

いよいよ明日から夏休みです。家庭の時間を大切に、安全と健康に気を付けて、子どもたちにとって楽しい有意義な時間となることを期待しています。

[夏休み中の大会・コンクール]

- 市水泳大会（水泳部） 7月23日（火）三河高校プール
- NHK学校音楽コンクール（音楽部） 7月29日（月）岡崎市民会館